旧三つ目通り(晴海の中心軸) 「豊かな緑と広い青空から太陽がそそぐ晴海のセントラルアヴェニュー」に向けて

## 豊洲・晴海開発整備計画(平成 27 年度改定)

### ◇土地利用

## (2) 賑わい軸の設定

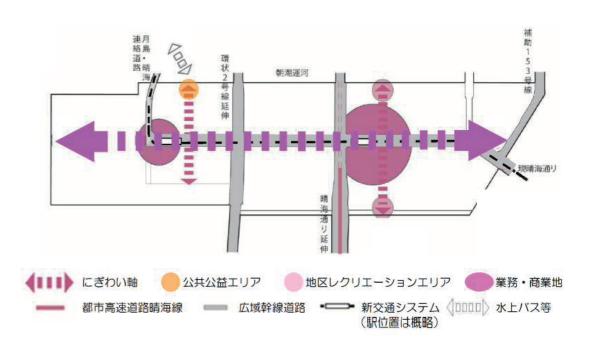
まちの特色や個性を創出するため、地区の賑わいの中心となる軸を設定する。

軸には、自動車交通と明確に分離された連続した**歩行者空間**を整備し、周囲には業務・商業を中心として、各エリアの特性に応じた施設を配置する。

- ア. 地区中央に、一丁目から五丁目を東西に貫く「**にぎわい軸**」を設定し、賑わい軸に沿った建物の低層部には、 商業施設等を誘導することで、歩行者空間と一体になったにぎわい空間を形成する。
- イ.業務・商業の拠点から水際線へとつながる位置に、南北方向の「にぎわい軸」を設定し、軸の終点には解放感のある、うるおいとにぎわいの空間を形成する。

#### ◇交诵基盤

既存交通網や周辺地域と連携した交通手段として、自転車の活用を促進する。



## 晴海地区将来ビジョン推進会議(平成 27 年度)

## 【1】中心軸の賑わいの充実

## </\- | \- >

中心軸:「生活者や来街者が行き交う賑わいのあるエリア」

建物低層部に生活利便施設などを配置するとともに安全かつ円滑で快適な交通環境

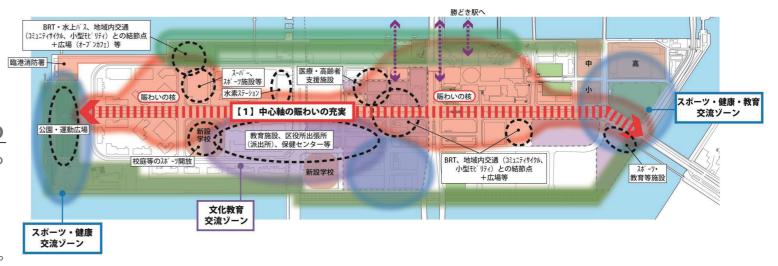
# (自転車推奨ルート、広幅員の歩道等)を整備

主要交差点:「賑わい拠点と交通の結節点」

オフィス、商業施設、医療施設、文化教育施設のほか、大街区化などにより**まとまりの ある広場**(屋外・屋内)を整備。あわせてBRTの停留施設、シェア小型モビリティや コミュニティサイクルポートを整備。

## <ソフト>

一丁目から五丁目の商業施設等が連携し、広場や屋内広場などにおいて地域活動の推進。 (例:町会活動、植栽活動(花・みどりで彩る活動)、防災拠点訓練、国際交流活動(日本文化伝承やマルシェ)等)



○**地域をつなぎ、みんなに愛されるシンボルロードの整備 ~** 地域に親しまれ・愛されるネーミング検討も必要 ~

# 街のブランドとなる通りづくり

- ・豊かで連続した緑
- ・快適な歩行空間
- ・独立した自転車専用道の確保
- ・BRT ステーション整備
- ・沿道の民地との一体的な整備

八一ド面





# 地域の誇り、愛着となる仕掛け

- ・地域に定着する愛称の設定
- ・地域による清掃活動
- ・地域による花壇の整備、管理

建て替えが行われ壁面後退している歩道約 6m + 歩道状空地約 4m = 合計約 10m

- ・滞留空間としての利用(パークレット等)
- ・商業施設とのタイアップイベントとしての活用

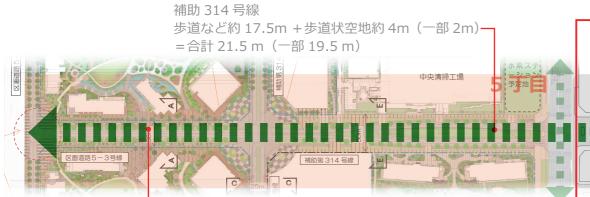


ソフト面



1-2 丁目

# 豊かな緑と広い青空から太陽がそそぐ 晴海のセントラルアヴェニュー



-区画道路 5-3 号道路 歩道 12.25m+ 歩道状空地 4.0 m = 合計 16.25 m - 歩道約 6m

開発時期により整備内容が異なるため、統一感(歩行空間の幅、舗装材料、照明など)に欠ける

- 歩道約 6m + 歩道状空地約 4m = 合計約 10m









- 歩道 6m

## ○みんなが歩きたくなる歩道空間の創出

### ●地元の声 (H28年 晴海ワークショップより)

- ・「閑散としている」
- ・「横断歩道が長くて渡りきれない」
- ・「バリアフリー問題」
- ・「地域の人が集まれる場所が欲しい」など

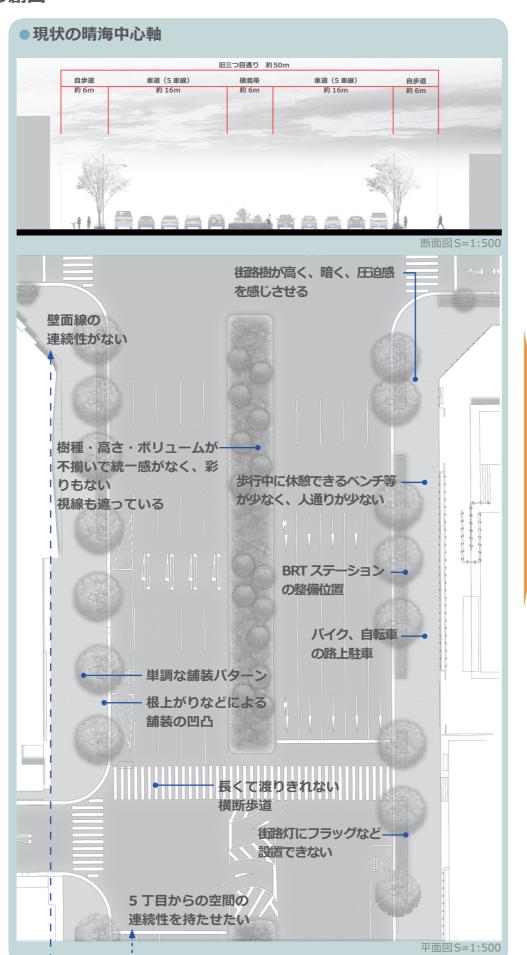


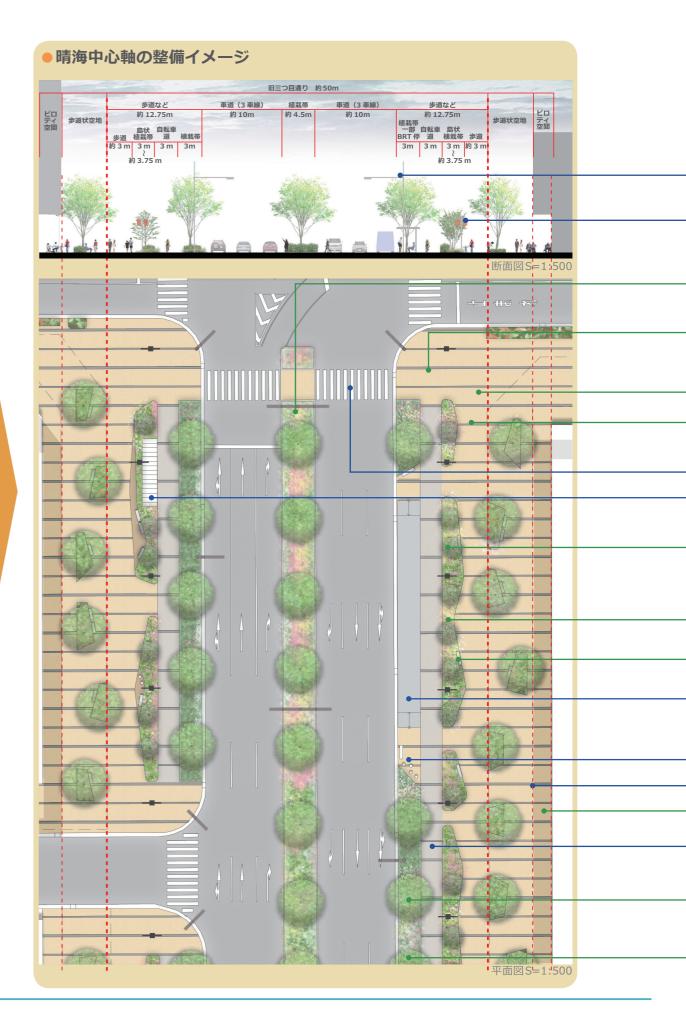












## ●公共交通の核となる BRT ステーション整備による、歩行者・自転車ネットワークの再構築

デジタルサイネージ広告+バス停



広幅員の植栽帯内に設置

**・レストスペース** 

公共交通の核となる BRT 停こデジタルサイ ネージ (地域静みも発信) やベンチなどを設 置し、コミュニティの核への転換を図る



歩行者デッキ(晴海通りとの交差部)設置 による安全な歩行者ネットワークの構築

自転車専用道



自転車道との構造分離帯の緑地と、 徒路樹に覆われた緑豊かな自転車道

ュニティサイクルポート



公共歩道内に設置し、利便性の向上と利用 を促す

## ●統一された往路灯

#### ●歩道照明

#### ● + バナーフラッグによる賑わい創出

- ●中央分離帯の高木植栽と、 四季を彩る低木植栽
- ●街区を越えて統一された、 リズミカルな舗装パターン (経年優化する舗装材料:自然石、レンガの採用)
- ●街角広場
- ●道ゆきの変化が楽しい歩行空間
- ●(広幅員部を利用したイベントも可能)
- ●車道幅員減少により横断歩道の長さを短く
- コミュニティサイクルポート
- ●四季が感じられる2列目島状植栽帯
- (一部に住民参加の街かど花壇など)
- ●島状植栽帯内に賑わいの仕掛けを設置
- (イベント用電源電源 BOX,WiFi など)
- ◆レストスポット(木陰の憩い空間)
- BRT ステーション(広幅員の植栽帯内に設置)

## ●日常時におけるにぎわい創出

建築ピロティ下の利用



半屋外空間を利用した開放的なカフェや ショップの展開

#### 商業の街路への滲み出し



商業に隣接した屋外空間

## 歩道状空地の商業利用



歩道状空地や歩道を一体的に利用した屋外 イベントなどの開催

#### レストスペース



歩道内の適所に設置するレストスポット に、地域情報を発信するサインを併設して 地域コミュニティーの場へ

2列目植栽帯に住民参加の街角花壇などを

設置



移動式の図書館や八百屋など

## 晴海ぐるっとランニングコース



ことのできるコースなど

## QR コード付き樹名盤・マイルストーン



左:東京都落合南公園 右:QR ]-ド付き樹名板(メー: QR ] - ド付きの樹名板などを利用し、植 物を愛でる気持ちを育てる。マイルストー ンのあるランニングコースなど

#### 街角アート(選手の手型など)



オリンピックレガシーを配し、 徒の記憶を伝える

# 街角アート(出場選手名など)



#### ●レストスペース+デジタルサイネージ

- ●壁面後退線を揃える
- ピロティ空間
- 自転車専用道
- ●中心軸の骨格を形成する往路樹 (適切な間隔での配植)
- ●樹木の根の健全な発育を促し、 根上がり防止に貢献する広い植栽帯

## ●イベント時におけるにぎわい創出



敷地内広場を利用した商業施設主催や地域 による個性豊かなイベント運営



花咲く往角制度を利用した花壇管理

#### 歩行者天国



歩行者の移動を立げ、普段は気づくこと のできない、街の発見や視点に気づく場を提供



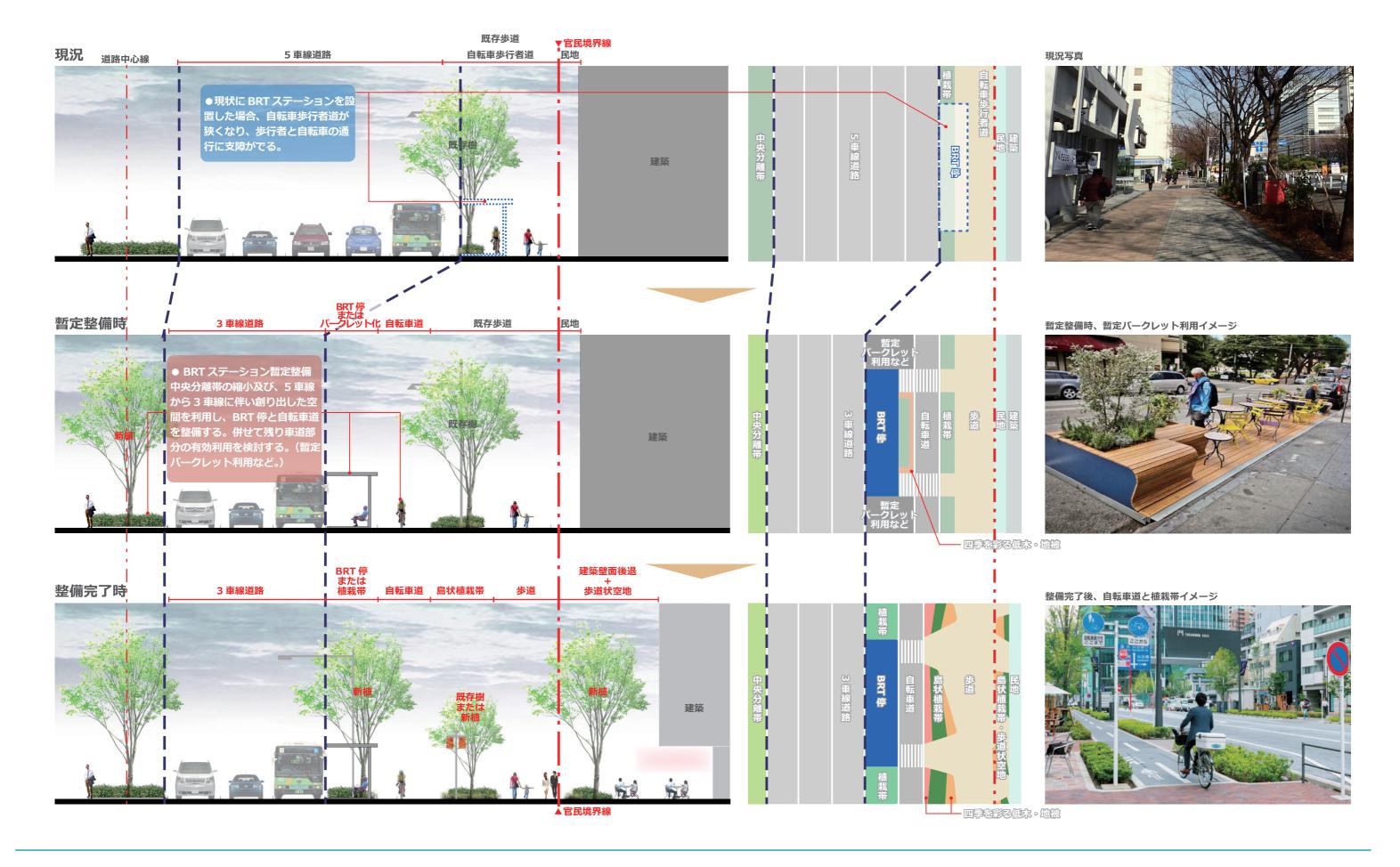
車道の一部を利用した住吉神社例大祭、 大規模マルシェ、食市など

### イルミネーション



植栽帯に設置した電源 BOX を利用した 冬季イベント

## ○段階的整備イメージ



## ○みどり豊かな街路景観の創出 ~ グリーンインフラの整備 ~

## 晴海中心軸の緑の現状

#### ●街路樹

背が高く、暗く、圧迫感を感じさせる 樹勢が衰え、枯れ枝等も見受けられる 夏と冬の景観の変化の差が顕著に見られる

#### ●中央分離帯

統一感がない

樹種・高さ・ボリュームが不揃い

彩りがない

視線を遮っている

片側 4,5 車線に加え幅の広い中央分離帯

#### ●通りの印象

関散としている 根上りによる舗装の凹凸

全長約 1.2 kmに渡る晴海 1~4 丁目間は 約 15 分程度の歩行距離である。

しかし、散歩や外出時における積極的な 利用が少ない。



#### グリーンインフラの整備

## 骨格

晴海の骨格を形成する ケヤキ並木の整備



## 植栽基盤

健全な植栽基盤を整え 根の育成と 良好な樹勢を保つ



#### 季節感

四季を通じて 街路空間に彩りを与える

## 晴海中心軸の骨格として

中心軸に相応しい豊かな緑陰や美しい景観、レストスポットを創出する ことが、人々の外出や交流の契機となり、賑わいの創出につながる

#### ①樹種に応じた適切な間隔での植栽

→成長に伴う高さや葉張り、視線の抜けなどを考慮し 10m ピッチで配置。 (既存ケヤキを継承する想定)

#### 2 植栽基盤の整備

→広幅員な道路空間を利用し、街路樹の植栽帯を約3m確保する。それにより樹木の根の生育 領域が拡張し、樹木の樹勢向上・根上がり防止の軽減につながる。 また、しっかりとした根を張ることで支持力強化が期待でき、倒木の危険性を回避できる。

#### ③ BRT ステーションの配置

→幅約 3m の植栽帯は、歩行者や自転車の交通を妨げない位置に BRT ステーションの設置を可能とする。またステーションに緑の要素を加えることで、植栽帯の緑との連携を図る。 (屋上緑化や壁面緑化、グリーントンネルなど)

#### 4中央分離帯・島状植栽帯・歩道状空地のバリエーション豊かな植栽帯

→自転車道の構造分離を兼ねる2列目植栽帯は、街路空間に変化とレストスペースを生み出す。

→低木・地被は四季を通して楽しむことのできる花木を中心とする。







BRT ステーション緑化イメー

